



4117

414
A 368

大正十一年四月
隈侯爵郵奇贈



各國交際、啓ルヤ彼我人民争訟、相生スル其勢
 亦夕止テ得サルナリ、維新已來交親日ニ加リ來注
 月ニ盛ニシテ訴訟、事又夕陸續司法省へ上ラントス
 抑内外人民、訴訟タルヤ被告ノ國之ラ裁スルハ條
 約上ニ判然タリ然レ頃日英國人民ヨリ舊諸藩臣ノ
 民ノ債ヲ以テ我政府ニ對シ原告スルアリ其裁判嚮ノ
 條約ト異ニシテ彼我之ラ共議共裁ス有識者之ラ
 評シテ曰是レ一時設為、假法ニシテ萬國ノ公道ニ非
 ラスト蓋シ亦夕厚キニ失スル者トセン歟臣按スルニ彼我
 ノ議裁タルヤ或ハ彼カ國体ニ關シ或ハ彼ノ衆民ニ涉

ル等ニ大事件ニ於テ乎之ヲ斯ニ行フベシ如何ソ一人一
己ノ訴訟ニ因リ彼ノ共議ヲ仰カンヤ且ツ在留スル彼ノ
一二ノ有司外務卿ト評決議判スルカ如キ以テ將來
ノ法ト為ニ足ラス已ニ將來ノ法トナスニ足ラスハ陸
續裁判ノ際彼ニ右シ此ニ左スルノ議無キ能ハス是交
際上ニ一害ヲ生スルノミナラス又以テ國體ヲ辱ムルノ一
端ナラン臣答辨ノ命ヲ拜スルノ日憂悶止ム能ハス將
ニ建言スル所アラントス如何セン公議已ニ定リ審庭ステ
ニ開ケ復タ挽回スヘカラス只管公裁義斷我邦名
聲ノ貶チサランラ默禱シテ此ニ從事スル耳頃聞ク

亞佛亦タ同轍ノ訴アリト是ニ於テ彼右此左ノ弊
害ヲ生センフ必セリ實ニ

御國威ニ關セサルヲ得ス仰願クハ今一應御雇外
國人法律家殺名ラ會シ事理御下問被為在尙
後訴訟ノ体裁御改正相成候様仕度共段不
顧忌諱上言仕候頓首敬白

明治六年十二月

土木頭
小野義真

正院
御中

五

即

將

贈

贈

贈

贈

贈

贈